



留学の手引き

HANDBOOK FOR STUDYING ABROAD



東京藝術大学

国際企画課

2019年12月改訂





目次

1. 留学に関する相談	2 p.
2. 留学の種類	3 p.
3. 留学情報の収集	4 p.
4. 語学能力	5 p.
5. 留学費用	9 p.
6. 奨学金	10 p.
7. 危機管理・保険	14 p.
8. その他	17 p.

1. 留学に関する相談

留学に関する質問や相談があるときは、以下の窓口を訪ねてください。

相談内容	相談先	開室時間	連絡先
美術学部 交換留学	美術学部教務係	平日 9:00～16:30	050-5525-2122 bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp
音楽学部 交換留学	音楽学部教務係	平日 9:00～16:30	050-5525-2308 music.edu-affairs@ml.geidai.ac.jp
映像研究科 留学全般	映像研究科教務係	平日 9:00～17:00	050-5525-2675
国際芸術創造研究科 留学全般	千住校地事務センター教務係	平日 9:00～17:00	kyomu.senju@ml.geidai.ac.jp
その他留学に関わる一般的な相談	大学本部国際企画課 ／グローバルサポートセンター	平日 8:30～17:00	intl-tua@ml.geidai.ac.jp



グローバルサポートセンターとは？

豊富な国際経験をもつスタッフが、海外留学を目指す学生や、藝大に在籍する外国人留学生を総合的に支援しています。藝大の国際化に関する特設 Web サイト「GEIDAI×GLOBAL」(<http://global.geidai.ac.jp/>)で以下の情報が閲覧できます。

- 大学の国際化に関する活動情報
- 各種事業概要
- 国際交流・留学に関する情報
 - ・ 藝大と国際交流協定を結んでいる海外大学の一覧
 - ・ 海外留学希望者向け情報（留学情報、奨学金支援、海外留学体験記等）
- 語学学習に関する情報
- 大学の国際的な活動の報告記事（日本語・英語）



2. 留学の種類

海外へ留学する機会には、「交換留学」と「一般留学」とがあります。

●交換留学

交換（派遣）留学制度とは本学と学生交流協定を結んでいる海外の大学へ、本学に在籍している学生が在籍したまま留学する制度です。募集人数は、各協定校につき原則1名で、派遣される学生は学内選考(書類選考、面接)で決定します。募集要項発行は、例年7月頃です。（美術学部の場合）

応募資格、必要書類については、各学部教務係等にお問い合わせください。

●一般留学

一般留学では、上記の交換留学制度を利用せず、留学先情報の収集や、手続きをすべて個人で行います。情報収集や手続きについては、在日の各国留学情報提供機関などで指導してもらえますが、確実な情報を得るためには留学を希望する大学へ直接問い合わせてください。

※備考：留学することにより、卒業（修了）時期が延びる場合があります。留学計画をたてる際には、履修計画について、指導教員、各学部等教務係とよく相談してください。

< 交換留学と一般留学の比較 >

	交換留学	一般留学
留学先	本学と学生交流協定を結んでいる海外の大学	留学を希望する大学
手続き	応募・選考は各学部の教務係を通して行われる <u>※派遣決定後の手続きについては本人が行う</u>	全て本人が行う
留学期間	3ヵ月以上～最長1年以内	本人次第 (ただし休学する場合は2年以内)
藝大での在籍身分	在学／休学	在学／休学
先方での授業料	免除（一部の大学では自己負担あり）	自弁
藝大の授業料	休学の場合：授業料負担なし 在学の場合：授業料を納める	
応募資格	派遣先大学の指定条件を満たす者 ※詳細は各学部の交換留学の募集要項を参照	留学先の大学による
単位認定	学部によって方針が異なるため、 留学前に所属学部の教務係に確認すること	原則として、本学の単位として認定しない

3. 留学情報の収集

各学部の教務係や国際企画課でも留学情報を提供していますが、各自で留学先(国の事情や大学、渡航手続等)について事前に調べておくことにより、留学準備を円滑に行うことができます。

以下に、主な国の留学情報提供機関を紹介しますので、参考にしてください。

●留学全般に関する情報

独立行政法人日本学生支援機構 海外留学情報

所在	〒135-8630 東京都江東区青梅 2-2-1
電話	03-5520-6111
Web サイト	http://ryugaku.jasso.go.jp/

●主要な留学情報提供機関・サイト

国名	機関名	ウェブサイト
アメリカ	日米教育委員会 (フルブライト・ジャパン)	https://www.fulbright.jp/study/index.html
イギリス	ブリティッシュ・カウンシル	http://www.britishcouncil.jp/studyuk
フランス	Campus France (フランス政府留学局・日本支局)	https://www.japon.campusfrance.org/ja
ドイツ	ドイツ学術交流 (DAAD) ゲーテ・インスティトゥート	http://tokyo.daad.de/wp/category/ja_news/ https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok.html
イタリア	イタリア文化会館	https://studyinitaly.jp/
スペイン	スペイン大使館	http://www.exteriores.gob.es/Embajadas/TOKIO/ja/infoparaextranjeros/Paginas/EstudiarenEspa%C3%B1a.aspx
オーストリア	オーストリア大使館	https://www.bmeia.gv.at/ja/oeb-tokio/reisen-nach-oesterreich/studieren-in-oesterreich/
フィンランド	フィンランドセンター	http://www.finstitute.jp/
オーストラリア	オーストラリア大使館	https://www.studyinaustralia.gov.au/japanese
中国	中国大使館	http://www.china-embassy.or.jp/jpn/jyylxsl/zglx/zglxan/
韓国	韓国教育省・国立国際教育研究所	http://www.studyinkorea.go.kr/ja/main.do

●その他

留学説明会や語学試験、奨学金等の情報が以下の Web サイトで確認できます。

上野キャンパス大学本部 1 階の国際企画課前の掲示板にも随時チラシ等を掲示しています。

- GEIDAI×GLOBAL 国際交流・留学 > 藝大からの留学：http://global.geidai.ac.jp/international/study_abroad/
留学準備・留学情報・奨学金支援 etc.
- 海外に留学した藝大生の「海外留学体験記」：<http://taikenki.geidai.ac.jp/>
留学の経緯、出発準備、現地での学校生活、滞在に関する情報 etc.

4. 語学能力

海外の多くの大学機関が留学の応募資格として語学能力試験のスコアを課しています。一般的に留学要件として求められる試験を紹介します。また、先方の大学が応募資格としてスコアを要求することがなくとも、授業の受講や留学先での生活を円滑にする上で語学能力を向上させる必要がありますので、留学に備えて受験をお勧めします。

●英語の試験について

TOEFL® (Test of English as a Foreign Language)

TOEFL テストのスコアは、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダの大学をはじめとした、130 カ国 9,000 以上の機関が、英語能力の証明、入学や推薦入学、奨学金、卒業の基準として採用しています。現在は、TOEFL iBT テストが主流です。

- ETS 公式サイト： <http://www.ets.org/jp/toefl/>

IELTS (International English Language Testing System)

イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドの大学や大学院では、IELTS のアカデミック・モジュールでのスコアを入学選考基準として採用しています。留学、海外での就職、移住などのために英語力を証明するための試験として世界 135 カ国 10,000 以上の機関が採用しており、英語力証明のグローバルスタンダードテストとして認知されています。世界で年間 290 万人が受験しています。

- IELTS とは： <http://www.britishcouncil.jp/exam/ielts>

TOEIC (Test of English for International Communication)

留学受入機関の語学水準として基準になることはあまりありませんが、日本国内では就職の際などに英語の公的試験として評価されることがあります。上記の試験よりも安価で受験できるので、実力把握のために活用することができます。

- TOEIC 公式サイト： <http://www.iibc-global.org/toeic.html>

●英語以外の語学能力試験について

英語以外の語学能力については、例えば下表に挙げる試験があります。留学先の大学により要求される試験および入学に必要なレベルが異なりますので、留学を希望する大学のウェブサイト等で必ず確認してください。

言語	試験名	目安レベル	関連機関等
フランス語	フランス語能力テスト TCF	Niveau B2	CIEP (国際教育研究センター) http://www.ciep.fr/tcf ※フランス語
	フランス語資格試験 DELF/DALF	B2	アンステイチュ・フランセ DELF・DALF 試験管理センター http://www.delfdalf.jp/
ドイツ語	ドイツ語検定試験 TestDaF	TDN 4	ドイツ文化センター https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok/prf/testdaf.html
	ゲーテ・インスティトゥート 検定試験	B1~B2	ゲーテ・インスティトゥート http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/jaindex.htm 藝大生向け 団体受験学内申込制度 (GEIDAI×GLOBAL) http://global.geidai.ac.jp/international/language_study/goethe-zertifikat/
イタリア語	イタリア語検定試験 CILS	CILS DUE - B2	イタリア文化会館 イタリア語学校 https://www.iictokyo.com/certi/cils.html
中国語	中国語検定 HSK	3～4級	HSK 日本実施委員会 http://www.hskj.jp/
韓国語	韓国語能力試験 TOPIK	5級	公益財団法人 韓国教育財団 http://www.kref.or.jp/examination/topik

CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)

CEFR とは、Common European Framework of Reference for Languages の略称です。20 年以上の研究の末、2000 年に、欧州評議会 (Council of Europe) によって公開された枠組みで「ヨーロッパの言語教育の向上のために基盤を作ることを目標としています。言語の枠や国境を越えて、異なる試験を相互に比較することが可能です。

現在は、欧州を中心に各地で利用され、40 言語に対応しています。CEFR は、外国語の熟達度を A1、A2、B1、B2、C1、C2 の 6 段階に分けて説明しています。CEFR の等級は、その言語を使って「具体的に何ができるか」という形で言語力を表す「can-do descriptor」を用いて分かりやすく示しています。

< 6 段階の共通参照レベル：Six levels of foreign language proficiency >

熟練した 言語使用者 Proficient User	C2	ほぼすべての話題を容易に理解し、その内容を論理的に再構成して、ごく細かいニュアンスまで表現できる
	C1	広範で複雑な話題を理解して、目的に合った適切な言葉を使い、論理的な主張や議論を組み立てることができる
自立した 言語使用者 Independent User	B2	社会生活での幅広い話題について自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を表現できる
	B1	社会生活での身近な話題について理解し、自分の意思とその理由を簡単に説明できる
基礎段階の 言語使用者 Basic User	A2	日常生活での身近なことからについて、簡単なやりとりができる
	A1	日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる

< 参照 > ※2018/06 時点

- ・ プリティッシュ・カウンシル, CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)
<<https://www.britishcouncil.jp/programmes/english-education/updates/4skills/about/cefr>>
- ・ NHK 出版, 英語力測定テスト 2019 <<http://eigoryoku.nhk-book.co.jp/cefr>>

< 各言語の資格・検定試験と CEFR のレベル >

CEFR	英語		フランス語		ドイツ語		イタリア語	中国語
	TOEFL iBT (Total)	IELTS (Band Score)	DELF/DALF	TCF	TestDaF	Goethe -Zertifikat	CILS	HSK
C2		9	DALF C2	600~699		C2	QUATTRO – C2	6 級
C1	95~	7~8	DALF C1	500~599	4~5	C1	TRE – C1	5 級
B2	72~	5.5~6.5	DELF B2	400~499	3~4	B2	DUE – B2	4 級
B1	42~	4~5	DELF B1	300~399		B1	UNO – B1	3 級
A2			DELF A2	200~299		A2	A2	2 級
A1			DELF A1	100~199		A1	A1	1 級

※上記は目安です。定めている機関等により、基準のばらつきがあります。

< 参照 > ※2019/7 時点

- ・ ETS TOEFL®, Compare TOEFL® Scores <<https://www.ets.org/toefl/institutions/scores/compare/>>
- ・ IELTS, Common European Framework <<https://www.ielts.org/ielts-for-organisations/common-european-framework>>
- ・ 日仏文化協会, フランス語のレベルについて <<http://www.ccfj.com/study/niveau/>>
- ・ Goethe Institute, TestDaF <<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok/prf/testdaf.html>>
- ・ Il Centro, CILS I LIVELLI CILS <http://cils.unistrasi.it/79/82/I_LIVELLI_CILS.htm>
- ・ HSK 中国語検定, HSK の級から見る CEFR <<http://www.hskj.jp/cefr/>>

●学内での語学学習支援

言語・音声トレーニングセンター

国際舞台での活躍に必要な語学力を養成するためのさまざまな授業や学習支援プログラムを提供しています。

- 各種外国語の学習に役立つ教材を所有しており、自由に利用できます。英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語の授業を開設しており、すべての学生が履修可能です。（履修要件あり）
- 教材は開設授業を履修していなくても、申し込みをすれば利用できます。
- 一部の教材は持ち出しができませんが、センター内での閲覧が可能です。



通称：音トレ

利用時間：月～金 10:00-17:00

電話：050-5525-2461

利用時間は、日によって異なる場合があります。
教員室(4-201)扉にある、開室日時カレンダーで
確認してください。

春期、夏期、冬期の休室に関しては、学部の休
暇に準じます。

グローバルサポートセンター・国際企画課

特別集中講義“Introduce Yourself as an Artist”

前期と後期に開講。「自分と作品を、自分の言葉で表現できること」を目標に、参加学生一人ひとりにあった英語による自己紹介の方法を講義します。受講生募集の際は、一斉メールや学内の掲示版等でお知らせします。

英語学習用 e ラーニングシステム

学生向けに英語学習用 e ラーニングシステムを無料で提供しています。利用者募集の際は、一斉メールや Web サイトでお知らせします。

〔参考〕

- GEIDAI×GLOBAL 国際交流・留学 > 語学関連
http://global.geidai.ac.jp/international/language_study/

5. 留学費用

留学にあたっては、滞在中にどのくらい費用が必要なのか検討し、十分な資金を準備しておくことが大切です。

留学に関わる費用として、渡航費、授業料、滞在費（寮またはアパートの宿舍費）、生活費等が必要です。これらの費用は滞在国や地域により大きく異なります。個人差はありますが、一般的には年間 250～400 万円ほどかかります。交換留学の場合、派遣先大学には授業料を納める必要はありません。（一部の大学を除く）

具体的な予算は過去に留学経験のある先輩や、現在留学中の人に聞くなど、色々な方法で情報を集めておきましょう。参考として、留学の際に想定される支出項目を紹介します。

● 留学費用項目チェックリスト

留 学 前	01	パスポート・ビザ費用	パスポートや学生ビザの申請料金など
	02	海外保険料	海外保険加入料
	03	渡航費	往復の渡航費、空港送迎費など
留 学 中	01	宿舍費	学生寮、アパート、ホームステイなど
	02	食費	寮での食事、自炊、外食費など
	03	学費	語学学校の費用、授業料など (多くの大学では、交換留学の場合は免除されます)
	04	教材費	授業で使用する教材、語学学習のための教材など
	05	交際費	学校行事、友人との付き合い、旅費など
	06	交通費	通学費（バスや電車の定期券）など

※ビザ申請時に、銀行の残高証明や戸籍謄本等を提出もしくは提示する必要のある国があります。書類の入手に時間がかかったり、日本語からの翻訳が必要だったりする場合がありますので、自身の渡航先のビザ申請に必要な書類を事前に確認しておくことをお勧めします。
※ビザの申請条件は頻繁に変わることがありますので、申請前に最新情報を必ず確認してください。

※国際企画課窓口にある「留学報告書」または Web サイト「東京藝術大学 海外留学体験記」で、留学経験のある藝大生が実際に留学にかかった費用を紹介していますので、参考にしてください。

6. 奨学金

●学内の奨学金

藝大生の国際舞台における活躍・研鑽を奨励・促進するために、下記の奨学金制度が用意されています。

海外留学支援奨学金 (2019年度)

海外留学を志し、計画・準備等を進めている学生に給付

対象	<ul style="list-style-type: none">・ 正規課程に在籍する者。・ 原則として、以下に指定する期間内に 90 日以上海外留学の開始を予定しており、語学能力検定試験に係る要件を満たしていること。 第1期：2019年7月19日（金）～2020年4月30日（木） 第2期：2020年1月17日（金）～2020年10月31日（土）
給付/貸与	給付
奨学金	40万円/名
募集期間	第1期：2019年6月3日（月）～7月19日（金） 第2期：2019年12月2日（月）～2020年1月17日（金）
採択者数	申請者数により採択者数を決定（年間最大4名）

語学学習奨励奨学金 (2019年度)

TOEFL等の語学検定試験で所定のスコアを取得した学生に給付

対象	<ul style="list-style-type: none">・ 正規課程に在籍する者（但し休学中は申請不可）。・ 藝大在籍中に受けた試験の成績に限る。
給付/貸与	給付
奨学金	2万円/名
募集期間	随時申請受付
採択者	最大100名/年

※募集要項・応募書類は下記のWebサイトに掲載しています。

http://global.geidai.ac.jp/international/study_abroad/scholarships/

※改訂することがありますので、最新情報はWebサイトを確認してください。

●学外の奨学金

日本人留学生に対する奨学金には、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）や外国政府、民間の企業や支援団体などから支給されるものがあります。詳細は、必ず各法人、団体等の Web サイトを確認するようにしてください。

トビタテ！留学 JAPAN

交換留学など単位取得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップやボランティア、フィールドワーク等の活動も支援する奨学金です。支援が大変充実した奨学金ですので、積極的に応募して海外経験を積みましょう。

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 第 13 期生

応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ①日本国籍を有する学生等又は日本への永住が許可されている ②事前・事後研修及び留学生ネットワークに参加できる ③日本の大学・大学院等に正規生として在籍する ④日本の在籍大学等が派遣を許可し、留学先機関が受入れを許可する ⑤原則として、2020年4月1日時点で日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たす ⑥留学に必要な査証を確実に取得し得る ⑦留学終了後、日本の在籍大学等で学業を継続又は学位を取得する ⑧2020年4月1日現在の年齢が30歳以下である ⑨インターンシップ等での報酬や他団体等から留学のための奨学金を受ける際に、その平均月額が本制度の奨学金支給月額を超えない ⑩本制度の第1～11期派遣留学生ではない
留学計画の申請要件	<ul style="list-style-type: none"> ①2020年8月10日から3月31日までの間に留学が開始される ②留学期間28日以上1年以内（3ヵ月以上推奨（「海外初チャレンジ応援」枠は除く） ③留学先における各受入れ機関が確保できる ④在籍大学等が、教育上有益な学修活動と認める計画 ⑤留学の目的に沿った実践活動が含まれている計画
給付/貸与	給付
対象コース	<ul style="list-style-type: none"> ①大学全国コース 独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たす学生 ②大学オープンコース 独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を超える学生
奨学金	<p>月額奨学金</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大学全国コース：北米、シンガポール、欧州（一部地域を除く）、中近東 160,000円 アジア（シンガポールを除く）、大洋州、中南米、アフリカ及び上記除外国 120,000円 ②大学オープンコース：全地域 60,000円 <p>留学準備金※両コース共通 アジア地域 150,000円／上記以外の地域 250,000円</p> <p>留学先（大学・大学院）における授業料（定額）※両コース共通 上限 300,000円</p>

※大学内での申請方法等については、2019年12月3日（火）に国際企画課から配信されているメール「【重要】トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 第13期生（2020年度後期）の募集開始について」をご確認ください。

※申請書類は、国際企画課を通して提出してください。

※文部科学省トビタテ！留学 JAPAN：http://www.tobitate.mext.go.jp/

※Q&A：https://tobitate.jasso.go.jp/faq_contact/

【問い合わせ先】 国際企画課

メール：intl-tua@ml.geidai.ac.jp

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金

※例年 9～10 月頃に募集が出ます。

①海外留学支援制度（大学院学位取得型）

対象	修士または博士の学位取得を目指し、海外の大学に 1 年以上留学する学生 <u>※実技系の学生は対象外</u>
給付/貸与	給付
奨学金	指定都市 148,000 円（パリ、ロンドン、ニューヨークなど）／甲地区 118,000 円（北米・欧州・中近東） 乙地区 104,000 円（プラハ、ブダペスト、シドニー、ソウルなど）／丙地区 89,000 円（アジア、中南米、アフリカ）
申請方法	各教務係に提出 ※詳細は、募集・手続きの際にご案内します。
参照	http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/daigakuin/index.html

②海外留学支援制度（協定派遣）※詳細は、交換留学の募集・手続きの際にご案内します。

対象	在籍大学を通じた諸外国大学との協定等に基づくプログラムに参加する学生のうち、学内の選考に通った学生 (交換留学や大学のプログラムに参加する学生)
給付/貸与	給付
奨学金	指定都市月額 10 万円（パリ、ロンドン、ニューヨークなど）／甲地区月額 8 万円（北米・欧州・中近東） 乙地区月額 7 万円（プラハ、ブダペスト、ソウルなど）／丙地区月額 6 万円（アジア、中南米、アフリカ）
申請方法	詳細は、交換留学募集・手続きの際にご案内します。
参照	http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/haken/index.html

③第二種奨学金（海外）の貸与（有利子貸与型）

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外の大学および大学院の正規課程（学位取得課程）への留学 ● 日本の学校を卒業見込みの在学者および、卒業後 3 年以内の者
給付/貸与	貸与
奨学金	（大学）月額 2～12 万円から希望額を選択 （大学院）月額 5 万円・8 万円・10 万円・13 万円・15 万円から希望額を選択
申請方法	国際企画課に申請
参照	http://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu_kaigai/index.html

④第二種奨学金（短期留学）の貸与（有利子貸与型）

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流協定等に基づく留学、留学先の取得単位が帰国後認定される留学、および大学院生の研究留学で国内在籍学校長が有意義と認める留学 ● 国内の学校に在籍し、海外の大学等に 3 ヶ月以上 1 年以内の短期留学をする者
給与/貸与	貸与
奨学金	（大学）月額 2～12 万円から希望額を選択 （大学院）月額 5 万円・8 万円・10 万円・13 万円・15 万円から希望額を選択
申請方法	国際企画課に申請
参照	http://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu_short.html

海外留学のための奨学金（JASSO）

日本から海外に留学するためのさまざまな奨学金制度が検索できます。海外留学奨学金検索サイトでは、「希望する課程」「国・地域」「専攻分野」を選択し検索すると、対象となる奨学金情報を見ることができます。また、奨学金や奨学金団体の名前で検索することもできます。

- 海外留学支援サイト
<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>
- 海外留学奨学金検索サイト
https://ryugaku-shogakukin.jasso.go.jp/scholarship_abroad/

外国政府等による奨学金

外国政府、外国政府関係団体が、その国・地域の大学などへ留学する日本人を対象に実施する奨学金です。募集人員や時期等は国により異なります。随時、JASSO のウェブサイト「外国政府等奨学金留学生」のページにも最新の情報や詳しい案内が掲載されていますので参考にしてください。

- 日本学生支援機構 JASSO 外国政府等の奨学金
http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/scholarship_foreign/

その他の奨学金

前述の奨学金以外にも民間企業や団体、地方自治体等からの奨学金もあります。受入大学や専攻分野などが限定されている場合もあり、募集時期も様々です。ご自身で調べる場合は、JASSO の「海外留学奨学金パンフレット」及び助成財団センターの「助成財団要覧・民間助成金ガイド」の最新版を参照されることをお勧めします。

- JASSO「海外留学奨学金パンフレット」：奨学金情報欄に様々な奨学金が紹介されています。
<http://ryugaku.jasso.go.jp/publication/pamphlet/>
- 助成財団センター「助成財団要覧・民間助成金ガイド」：助成金情報欄から奨学金情報を得ることができます。
<http://www.jfc.or.jp>

また、大学の推薦が必要な奨学金への応募については、GEIDAI×GLOBAL の奨学金情報ページで応募方法等の詳細を確認してください。

- GEIDAI×GLOBAL：国際交流・留学＞藝大からの留学＞奨学金支援
http://global.geidai.ac.jp/international/study_abroad/scholarships/

7. 危機管理・保険

気候や文化、法律、生活習慣等が異なる海外で留学生活を送るのは容易なことではありません。当初の目的を達成し、無事帰国するためには、「自分の身は自分で守る」という心構えが必要です。事前に留学先の情報を収集し、常に危機を回避する準備と行動を心がけましょう。

●留学前に準備しておくこと

留学前に健康面での安全を確保してください。また渡航前には、健康診断、歯科検診、予防接種などを受けて、必要な治療は終わらせておくことをお勧めします。

<留学前チェックリスト>

留学前に 準備しておくこと	01	健康診断	留学に行く前に不調はないか確認しましょう。
	02	歯科検診	歯科治療が非常に高額な国がありますので日本で治療を済ませておきましょう。
	03	予防接種	留学先の事情を調べ、事前にワクチンを受けておきましょう。入学するのに必要な場合もあります。
	04	クレジットカード	海外生活の必需品です。持っていない方はカードを作成されることをお勧めします。
	05	写真	身分証明書などで必要となることがあります。複数枚用意しておきましょう。
	06	戸籍謄本	パスポートを紛失した場合、再発行の手続きが必要です。万が一の場合に備えて用意しておくことをお勧めします。

●留学先での危機管理

海外へ留学する際は、事前に留学先地域の治安情勢や犯罪傾向等を十分に把握し、事故やトラブルに巻き込まれないよう日頃から注意してください。

日本と留学先では治安情勢が異なります。また、不慣れな場所での生活では事故や窃盗などの被害に遭う可能性が高くなります。日没後に1人で出歩くこと、大金を持ち歩くこと、華美な服装をすること、鞆を開けたまま歩くこと、席に荷物を置いたまま離席することなどの軽率な行動は避けましょう。危険なトラブルに自ら足を踏み入れないように注意してください。

各国の治安状況に関しては、外務省の海外安全ホームページに最新の情報が掲載されていますので、必ず確認してください。

- GEIDAI×GLOBAL 安全対策・危機管理 http://global.geidai.ac.jp/international/study_abroad/safety/
- 外務省 海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp>
国・地域情報 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/>
- 海外邦人安全協会 海外安全マニュアル <http://www.josa.or.jp/travel/manual/>

外務省の登録サービス

災害時などに、日本国大使館や総領事館が登録している所在地や緊急連絡先に情報提供等を行います。

在留届：3ヵ月以上の滞在者は義務

旅券法第16条により、外国に住所または居所を定めて3ヵ月以上滞在する日本人は、その地域の日本の大使館または総領事館(在外公館)に「在留届」を提出することが義務付けられています。届け出は、実際に現地に行った後に行うものです。住所等が決まったら在留届を提出しましょう。提出方法はインターネット、持参、FAX、郵送にて行うことが可能です。

外務省 「『在留届』をご存知ですか？」

<http://https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>

たびレジ：3ヵ月未満の渡航者が対象

海外旅行や海外出張される方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の渡航情報や緊急事態発生時の連絡メール、緊急連絡などが受け取れるシステムです。「たびレジ」を利用すれば、滞在先の最新の渡航情報や、在外公館などから緊急時情報の提供を受けることができ、在外公館からの緊急一斉連絡メールなどを受信することもできます。

外務省 「たびレジ」

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

「在留届」及び「たびレジ」は、必ず登録をしてください。

※上記のほか、藝大に「海外渡航届」を必ず提出してください。

Webフォームで簡単に手続きできます。詳細はこの冊子の裏表紙を見てください。

●海外旅行保険

国により医療事情は大きく異なります。留学先でケガや病気になる可能性も考え、医療費を十分カバー出来る保険を事前にかけておきましょう。外務省の世界の医療事情のサイトには各国の医療事情や、日本語で対応可能な医療機関も掲載されています。よく読んで把握しておいてください。

一般的に、歯科医療は保険適用対象外です。長期に渡る留学をする場合には、歯科検診を事前に受けることをお勧めします。また、持病のある人は、渡航前のかかりつけの医師との相談や薬を持っていくことも忘れないでください。

- 厚生労働省検疫所ウェブサイト FORTH 海外で健康に過ごすために

<http://www.forth.go.jp>

- 外務省の世界の医療事情

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

留学する際に関係する保険制度についての一般的な説明です。留学先の大学によって加入しなければならない保険の種類や内容が異なりますので、詳細については各保険会社等に相談してください。また、十分な補償内容となっているか、確認が必要です。不足する場合は海外旅行保険等でカバーしましょう。

留学先大学独自の保険

留学先大学によっては、大学独自の保険の加入を義務付けているところがあります。交換留学の場合には、受入の許可が決まり次第、相手先大学より案内がある場合もあります。

海外旅行傷害保険（留学保険）

留学保険は、一般的な海外旅行保険をベースとして、留学生の長期滞在を想定して起こり得るリスクへのカバーがプラスされます。いずれの国へ留学する際にも、留学保険には必ず加入するようにしてください。

- 外務省 海外安全ホームページ「海外旅行保険加入のおすすめ」
http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/hoken.html
- 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）「知って安心、知って得する海外旅行保険」
https://www.jata-net.or.jp/travel/info/safety/health/brochure/anshin/anshin_guide.html
- 海外旅行保険比較サイト(株式会社アイ・エフ・クリエイト)
<http://www.i-hoken.jp>

学生教育研究災害障害保険（学研災）

多くの藝大生が入学時に加入していますが、協定校への交換留学中の場合、協定校での正課活動中等の事故については、学研災の対象となります。学研災の詳細については、学生課総務係でご確認ください。また、大学が承認するプログラムとして海外留学や海外研修に行く場合に、「学生教育研究災害傷害保険付帯 海外留学保険」に加入することができます。一般的な海外留学保険より安価なので、利用を推奨しています。

- GEIDAI×GLOBAL 国際交流・留学 > 藝大からの留学 > 安全対策・危機管理 > 海外留学保険
http://global.geidai.ac.jp/international/study_abroad/safety/

国民健康保険

国民健康保険には海外療養費支給制度があり、被保険者が海外で病気やケガで治療を受けたときに、医療保険が適用され、支払った医療費の払戻請求ができます。事前に最寄りの市区町村の役所に確認してください。

クレジットカード付帯海外旅行保険

保険内容、適用条件など各会社によって異なりますので、詳細は各クレジットカード発行会社に問い合わせてください。

ただし、クレジットカード付帯の保険は非常に簡易なものである場合が多いため、付帯保険がある場合でも、海外旅行傷害保険（留学保険）に加入することを推奨します。

OSSMA : Overseas Student Security Management Assistance

藝大は、日本エマージェンシーアシスタンス株式会社と、海外渡航に係る安全対策・危機管理について契約を締結しており、学生への安全指導や緊急事態発生時の支援を受けています。

OSSMA は、学生が個別に加入できる同社のサービスで、学生本人とその保護者の方が、24 時間 365 日稼働の「OSSMA ヘルプライン」を利用することができます。また、クラウドを活用した安否確認システム「OSSMA LOCATOR」等、同社の世界的ネットワークで留学生活をサポートされます。

- 留学生危機管理サービス（OSSMA）
<https://emergency.co.jp/service/education/>



8. その他

●その他の留学関連情報

- 一般社団法人「留学サービス審査機構（J-CROSS）」：
私費留学をする方が利用する留学斡旋業者の信頼度に関する情報が掲載されています。
<http://www.jcross.or.jp/list/>
- 東京藝術大学 国際交流校一覧：
藝大と交流協定を締結している海外大学の一覧です。
http://global.geidai.ac.jp/international/international_partners/

「海外渡航届」は提出しましたか？

海外でテロ事件などが起きた場合でも、事前にあなたの滞在先を
大学に伝えておくことで、大学からあなたへの連絡がスムーズになります。

「海外渡航届」は Web フォームです。5 分程度で入力できます。
CampusPlan または QR コードからアクセスしてください。



<緊急連絡先記入欄>

留学先大学

担当:
Tel:
E-mail:

日本大使館・領事館

担当:
Tel:
E-mail:

東京藝術大学

担当: 国際企画課
Tel: +81-50-5525-2067
E-mail: intl-tua@ml.geidai.ac.jp

本人の家族

担当:
Tel:
E-mail:

[この冊子は留学先まで持っていくようにしてください。](#)

問い合わせ先：国際企画課
メール：intl-tua@ml.geidai.ac.jp

この冊子に追加してほしい情報があれば、お気軽にご連絡ください。